

小児総合医療センター

かみその じゅんじ
センター長 神 菌 淳 司

専門医等

日本小児科学会 専門医・指導医
日本血液学会 専門医
日本小児血液・がん学会 暫定指導医
日本小児救急医学会 理事
日本子ども虐待医学会 理事
日本SIDS・乳幼児突然死予防学会 評議員
福岡県救急医療協議会 小児救急医療専門委員会 委員長
北九州市要保護児童対策地域協議会 会長
九州・沖縄小児救急医学研究会 代表世話人
公立大学法人 九州歯科大学客員教授

卒年

平成2年



ごあいさつ

小児救急・小児総合医療センターは、多くの小児科専門医・救急専門医・集中治療専門医とその指導の元に学ぶ多くの専攻医により、チーム医療を基本として“子どもたちの安全と安心”を目指しています。来院する子どもたちの診療のみならず、養育不安、発達発育の心配など、そのご家族に直面した問題を一緒に考え、多方面にわたる医療サポートを心がけています。今後も、市民の皆様のニーズに迅速かつ適確に、常に謙虚にお応えできるよう心がけてまいります。

センターの使命

24時間365日 こども達の“安全・安心”を守ること
すべての内因系病態・疾患と外傷・外科系疾患、救急搬送と集中治療を必要とする緊急性の高い子どもたちに迅速に対応いたします。
子どもたちを取り巻く養育環境・育児不安の問題にも、多機関多職種で対応いたします。

4つの24時間365日提供可能な“安全・安心”を守ることを目指しています。

- すべての内因系病態・疾患に対応
- すべての外傷・外科系疾患に対応
- すべての搬送と集中治療に対応
- すべての子ども虐待事案への対応

診療体制

副院長 天本 正乃
統括部長・小児総合医療センター長 神 菌 淳 司
主任部長 今村 徳夫 安井 昌博 高野 健一
5A病棟 八坂 龍広
5B病棟 興梠 雅彦
小児救急センター長 西山 和孝
小児外来医長 富田 一郎
小児集中治療部医長 小林 匡

【一般小児外来 受付時間 8:00~11:00】

山根 浩昌(月・木) 石橋 紳作(火・水)
天本 正乃(火・水・金) 今村 徳夫(月・木)
高野 健一(火・金) 富田 一郎(火・金)
八坂 龍広(水・木) 長嶺 伸治(月・金)
森吉 研輔(月・水)

【小児専門外来(予約制) 受付時間 午後13:00~16:00(*非常勤医師)】

血液・腫瘍(水) 稲垣 二郎・興梠 雅彦・安井 昌博
免疫・膠原病(月・水・木) 神 菌 淳 司・西小森 隆太>(*2/4週木)
神経てんかん(金) 天本 正乃・下野 昌幸*・松石 豊次郎*
循環器(火:午前 金:午後) 長嶺 伸治・富田 芳江・
籠手田 雄介>(*火)
内分泌・代謝(水 2/4週) 富田 一郎・荒木 俊介*
夜尿症(月・木) 今村 徳夫
消化器・肝臓病(月) 水落 建輝>(*3週のみ)
腎・代謝(水) 田中 征治>(*2週)
アレルギー(木) 小野 佳代・沖 剛>(*1/3週)
集中治療フォローアップ外来 小林 匡・福政 宏司(隔週で交互に担当)
発達障害(月・木) 村上 知恵
家族とこどもの支援外来 藤崎 徹・森吉 研輔・
神 菌 淳 司(随時対応)
心理カウンセリング 蛭木 聡子(完全予約制)

【小児救急・小児総合医療センターホームページ】
<https://yahataped.jp>

【2019年度外来・入院管理実績】

小児外来患者数: 51,412名 小児入院患者数: 4,310名
入院延べ患者数: 37,225名

センターの概要

小児病床数(最大 134 床)
【小児病棟】42 床 2 病棟 全 84 床(小児入院医療管理料1)
うち無菌エリア 10 床
(クラス 100:2 床、クラス 1000:8 床)
【小児集中治療室】8 床(小児入院医療管理料1)
【救急病棟】12 床(急性期一般1)
【小児病棟】20 床 1 病棟(急性期一般1)
10 床 1 病棟(小児入院医療管理料4)
【小児外来・ER】 外来診療室: 8 室、バックベットの: 10 床
救急搬送室: 6 床

施設認定

日本小児科学会 研修認定施設
小児血液・がん学会専門医研修施設
福岡県児童虐待防止医療ネットワーク事業拠点病院
小児神経専門医研修認定施設 (関連施設: 久留米大学)

当院における専攻医・フェロー教育の特徴

【小児科専攻医】

小児科学会専門医を目指す3-5年目の医師で外来・病棟の診療と臨床研究に従事

入院担当症例数 年間400例を担当

ER診療 2年目より開始・外因系・外傷初期対応を学ぶ

内因系のみならず全ての外傷・外因系も研修をカバー

【専門分野研修】

下記の4つの専門分野の患者診療のみならず病棟・外来運営・教育を目的としたプログラム

小児血液腫瘍・造血細胞移植部門

責任者 稲垣二郎 (小児科部長)

安井昌博 (小児科主任部長)

小児救急・小児集中治療部門

責任者 西山和孝 (小児救急センター長)

小林匡 (PICU長)

小児神経てんかん診療部門 (久留米大学と連携)

責任者 天本正乃 (副院長)

子ども虐待医療部門

責任者・神菌淳司 (統括部長)

当院の診療の特徴

(1) 小児初期診療から集中治療を一手に担う

重篤小児の搬送症例をそのままPICUや病棟で管理することが可能で、バランス良く多岐に渡る症例の経験が可能です。救急で診療した患者をそのまま病棟で継続管理を行うので、急性期から慢性期の移行の流れをダイナミックに経験することができます。小児の外傷・外因系および周術期の症例も当センターの医師が全てを管理します。

(2) 毎日の総合回診とグループ診療体制

教育の基本姿勢は何と言っても365日毎日行われる病棟・PICUラウンドです。そこで挙がったテーマや内容などを電子媒体で共有し、情報のアップデートを可能としています。365日毎日総合回診・1日2回のケース・カンファレンス・グループ診療体制を確立させ、安全な医療を提供します。

(3) 小児早期警告スコアリング・システム PEWSの導入

院内外の切れ目のない医療の提供を目的に導入された本邦初の「子ども身体評価とバイタルサイン評価」を修得できます。小児救急医学会を中心に学会急変対応教育プログラムとしても利用されているシステムです。

(4) 小児臨床超音波学の推進

圧倒的な症例数とともに小児超音波による診断と侵襲の少ない子どもに優しい医療を展開可能としています。

(5) 小児神経・てんかん診療部

圧倒的な症例数とともに神経筋疾患・てんかん疾患の迅速な診断と希少疾患・病態への治療を実践しています。特に北九州市立総合療育センターとの専攻医プログラム連携は特筆すべき当院の特徴です。

(6) 小児血液・腫瘍・造血幹細胞移植部

2017年日本血液学会専門医・日本造血幹細胞移植専門医が専属で着任しました。新病院では無菌室10床を開設し、造血細胞移植療法を2019年に開始いたしました。

(7) チャイルド・デス・レビューと子ども虐待医学の発展

院内に設けられた家族と子どもの支援委員会では、死因究明や発生予防可能性・養育不全を評価しています。身体的虐待では、頭部外傷・熱傷・骨折などの子ども虐待医学からみた診療施設を学ぶことができます。

主催する勉強会およびワークショップ

(1) 小児紹介患者・搬送症例検討月例会 (HOPE)

月一回開催 第4 火曜日

(Monthly Meeting Of Hospital Pediatrics & Emergency Medicine)

当該月の入院患者の動向・感染症発生動向・救急搬送症例統計・虐待事案統計を紹介し、専攻医が日頃から診療所・病院よりご紹介いただいた症例のなかから教訓的な症例をピックアップして専攻医のための医学的検証を行う教育の場となっています。

(2) 小児救急医療ワークショップ in 北九州 主催 毎年7月 週末

北九州市保健福祉局とともに2005年から開催され、2019年には第14回を迎えました。この小児救急医療ワークショップ in 北九州では、小児救急医療における様々な課題をテーマとして参加型ワークショップを継続開催しています。

(3) 家族と子どもの支援委員会

Family & Child Protection Team 月例検証会 第4木曜日

当院は福岡県児童虐待防止医療ネットワーク事業拠点病院として、福岡県警本部・地方検察庁小倉支部・北九州市子ども総合センター (児童相談所)・北九州市子育て支援課・産業医大法医学教室とともに、毎月50-60症例のオーバービュー事例検証とシリアスケースに対する詳細な検証会を開催し、虐待医学の視点から予防に繋がる提言を立案しています。

豊富な関連・連携病院・基幹病院群

県内

久留米大学 小児科

北九州市立総合療育センター 小児科

北九州市立医療センター 母子周産期センター

JCHO 九州病院 小児循環器科・小児科・新生児科

産業医科大学 小児科・母子周産期センター

おんが病院 小児科

新水巻病院 小児科

県外

愛媛大学 小児科

松戸市立総合医療センター 小児科・小児集中治療科

神戸市立中央市民病院 小児科

手稲啓仁会病院 小児科



市川光太郎 名誉院長の書

小児救急・総合医療センター スタッフ紹介

副院長 天本 正乃 (あまもと まさの)

卒年 昭和60年

専門医等

日本小児科学会 専門医・指導医

統括部長 神薊 淳司 (かみぞの じゅんじ)

卒年 平成2年

専門医等

日本小児科学会 専門医・指導医/日本血液学会 専門医/日本小児血液・がん学会 断定指導医/日本小児救急医学会 理事/日本子ども虐待医学会 理事/日本SIDS・乳幼児突然死予防学会 評議員/公立大学法人 九州歯科大学客員教授

小児科主任部長 今村 徳夫 (いまむら のりお)

卒年 平成元年

専門医等

日本小児科学会 専門医・指導医

小児科主任部長 安井 昌博 (やすい まさひろ)

卒年 平成2年

専門医等

日本小児科学会 小児科専門医・指導医/日本血液学会認定血液専門医・指導医/日本がん治療認定医機構・暫定教育医/日本小児血液・がん学会 小児血液・がん専門医・指導医・評議員/日本造血細胞移植学会 評議員・造血細胞移植認定医/日本輸血・細胞治療学会認定医・評議員/細胞治療認定管理士

小児科主任部長 高野 健一 (たかの けんいち)

卒年 平成13年

専門医等

日本小児科学会 専門医・指導医

小児科部長 石橋 紳作 (いしばし しんさく)

卒年 昭和63年

専門医等

日本小児科学会 専門医

小児科部長 山根 浩昌 (やまね ひろまさ)

卒年 平成7年

小児科部長 稲垣 二郎 (いながき じろう)

卒年 平成9年

専門医等

日本小児科学会 専門医・指導医/日本血液学会 専門医・指導医/日本小児血液・がん学会 専門医・指導医/日本造血細胞移植学会 移植認定医/日本血液学会 評議員/日本小児血液・がん学会 評議員/日本造血細胞移植学会 評議員

小児科部長 興枵 雅彦 (こうらき まさひこ)

卒年 平成12年

専門医等

日本小児科学会 専門医・指導医/日本血液学会 専門医/日本がん治療学会 認定医/日本造血細胞移植学会 移植認定医

小児科部長 西山 和孝 (にしやま かずたか)

卒年 平成14年

専門医等

日本救急医学会 専門医
日本外科学会 専門医

小児科部長 富田 芳江 (とみた よしえ)

卒年 平成16年

専門医等

日本小児科学会 専門医

小児科部長 富田 一郎 (とみた いちろう)

卒年 平成16年

専門医等

日本小児科学会 専門医・指導医

小児科部長 小林 匡 (こばやし まさし)

卒年 平成16年

専門医等

日本小児科学会 専門医/日本救急医学会 専門医

小児科部長 八坂 龍広 (やさか たつひろ)

卒年 平成17年

専門医等

日本小児科学会 専門医

小児科部長 小野 友輔 (おの ゆうすけ)

卒年 平成17年

専門医等

日本小児科学会 専門医・指導医

小児科部長 小野 佳代 (おの かよ)

卒年 平成17年

専門医等

日本小児科学会 専門医

小児科部長 福政 宏司 (ふくまさ ひろし)

卒年 平成17年

専門医等

日本小児科学会 専門医・指導医/日本集中治療医学会 集中治療専門医

小児科部長 岡島 祥憲 (おかはた よしのり)

卒年 平成19年

専門医等

日本救急医学会 専門医

小児科部長 長嶺 伸治 (ながみね しんじ)

卒年 平成14年

小児科副部長 森吉 研輔 (もりよし けんすけ)

卒年 平成25年

小児科副部長 藤崎 徹 (ふじさき とおる)

卒年 平成23年

廣上 晶子 (ひろかみ あきこ)

卒年 平成27年

東 陽三 (あずま ようぞう)

卒年 平成28年

福田 祥子 (ふくだ しょうこ)

卒年 平成28年

落合 健太 (おちあい けんた)

卒年 平成28年

堀川 翔伍 (ほりかわ しょうご)

卒年 平成29年

白川 忠信 (しらかわ ただのぶ)

卒年 平成29年

吉田 峻 (よしだ しゅん)

卒年 平成29年

佐々木 淳 (ささき あつし)

卒年 平成28年

山鹿 友里絵 (やまが ゆりえ)

卒年 平成30年

(嘱託医) 村上 知恵 (むらかみ ちえ)

卒年 平成3年

専門医等

日本小児科学会 専門医/日本小児神経学会 専門医